

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：地域医療

○臨床研修協力施設

研修期間：4週間～8週間

	施設名
1	医療法人雙立会 碩心館病院
2	社会医療法人芳越会 ホウエツ病院
3	医療法人若葉会 近藤内科病院
4	医療法人松風会 江藤病院
5	那賀町国民健康保健 木頭診療所
6	那賀町立 上那賀病院
7	国民健康保険 勝浦病院
8	海陽町立 海南病院
9	美波町国民健康保険 美波病院
10	医療法人加藤会 小松島金磯病院

I：一般目標 (GIO: General Instructional Objective)

地域医療においては、協力施設である病院・診療所で研修を行う。(上記参照)
プライマリ・ケアからリハビリテーション、あるいは緩和ケアにいたる包括的な医療の理解を深める。また、患者の日常生活や居住する地域の特性に即した医療について理解し、実践する。

II：行動目標 (SBOs: Specific Behavioral objectives)

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 診察法・検査・手技

- 1) 地域医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応するために、診療所の役割と医療連携の必要性を理解し、問題解決力と臨床的技能及び態度を身に付ける。
- 2) 地域医療における診療所の役割、病診連携のあり方などを理解し、実践することができる。
- 3) 一般外来にて初期治療や慢性疾患の継続治療を理解し、実践することができる。
- 4) 緩和ケアに関する理解を深め、適切に看取りを実践することができる。
- 5) 在宅医療に関する理解を深め、多職種協働在宅医療を実践することができる。
- 6) へき地医療について、理解し実践することができる。
- 7) 病棟研修は慢性期・回復期病棟での研修を含め、そのあり方などを理解し、実践することができる。

Ⅲ：学習方法 (LS : Learning Strategy)

1) LS (方略) 1 : On-the-job training

- ・OJT として診療に同行、あるいは実際に診療にあたる。
- ・外来患者の予診をとり、指導医の診察に同席する。
- ・回診、カンファレンスへ参加する。
- ・チーム医療の一員として他職種と協働する。

Ⅳ：学習評価 (EV : Evaluation)

- ・研修医は、研修先の指導医から、適宜行動目標についてのフィードバックを受ける。
- ・研修医は、院外研修レポート用紙に、毎日の記録、全体の総括、到達度評価を記入しレポート終了時に、指導医へ提出する。また、到達度評価を PG-EPOC へ入力する。
- ・指導医は、総合評価と到達度評価を行う。